

1

説明文の出典は阿部彩『弱者の居場所がない社会』（講談社現代新書）です。社会的弱者が自然災害において被害をより大きく受けるのは社会の仕組みが原因である、ということを説いた文章です。

問一

1 頁上段 1 行目傍線（1）「社会的排除」の意味を問う問題です。1 頁上段 11 行目から 25 行目が具体例をあげた説明で、それをまとめているのが、26 行目「このように」ではじまる形式段落ですので、この 26 行目から 28 行目までの段落の語句を用いて、「労働市場から追い出し、社会の仕組みから脱落させ、人間関係から遠ざけ、さらに人の自尊心を失わせて、徐々に社会から切り離す」というようにまとめると解答となります。

問二

1 頁上段 1 行目傍線（2）「貧困」の意味を問う問題です。5 行目の「貧困とは」とありますので、これを以下を利用し、「生活水準を保つために必要なモノやそれを得るための資源がない状態。」というように解答します。

問三

1 頁下段 56 行目 (3) にあてはまることばを選ぶ問題です。被災者のことを思うと一般的な弱者を論ずることが憚られる事態であることが (3) の前で述べられています。(3) の後には、被災者だけでなく社会全体に関する不都合が理由としてあがっていますので、答えはエの不幸です。

問四

2 頁上段 88 行目 (4) にはいるひらがな 2 字の語を答える問題です。直前に「至難の」とありますので、答えは「わざ」です。

問五

2 頁下段 102 行目傍線（5）「社会の仕組み」とありますが、本文全体を通して筆者は社会の仕組みをどのような構造からどのような構造へ変える必要があると主張しているのかを問う問題です。まず、解答の前半には「どのような構造から」すなわち現在ではどのような構造であるのかを書きます。このことが指摘されているのは、1 頁下段 64 行目「社会の構造的問題＝理不尽な格差や貧困を生み出す仕組みや人々を社会の周縁に押しやる排除の構造」です。次に、解答の後半には、「どのような構造へ」すなわち、目標とすべき社会のありようを書きます。このことが指摘されているのは、2 頁下段 110 行目「すべての人が尊厳をもって、安心して暮らせるような仕組み」という箇所です。この 2 点を利用して、「理不尽な格差や貧困を生み出す仕組みや、人々を社会の周縁に押しやる排除の可能性を持った構造から、すべての人が尊厳をもって、安心して暮らせる安全網を整備した構造へと変える必要がある。」と解答します。

問六

接続詞を選ぶ問題です。1 頁上段 1 行目 A の直前を見ますと、その 1 行前に、排除されるところが抽象的に「制度や仕組み」「人間関係」「物理的な場所」と挙げられていて、直後に「会社をクビになる」という具体例が続きますので、具体例を導く接続詞エたとえば、が入ります。1 頁上段 1 5 行目 B は直前の段落

がいま述べた「会社をクビになったケース」で直後にも「失業が長引けば」とあって、付け加えられていますから、付け加えの接続詞アさらに、が入ります。2頁上段66行目 **C** は前に、災害によって、かえってそれ以前から存在する社会の問題が見えにくくなることが書かれていて、Cの後に、災害の被害はもともと社会の底辺にある人間がより大きいということが指摘されていますので、根本的なこと述べるときに用いる接続詞ウのそもそものが、答えです。2頁上段75行目 **D** は直前の段落の終わり73行目「被災者への惜しみない支援が届けられる」というように、災害の当初では被災者の差があまり感じられないことが述べられて、Dの後は、「時間がたつにつれて、災害弱者とそうでない人々の格差は明らかになっていく」というように格差の広がり指摘されていますので、逆接の接続詞イのしかし、が入ります。

問七

漢字の書き取り問題は、楷書で丁寧に書く必要があります。

問八

本文の内容に合うものを答える問題です。災害の人々にもたらす影響は社会的弱者がより甚大であるという内容が書かれていました。つまり、筆者が重大視しているのは、災害の大きさそのものではなく、人々がおかれている社会的な立場です。したがって、エが正解です。他の選択肢を見てみます。アは後半の「貧富の差や地位の差はその後ずっと感じられなくなってしまう」というところが本文の内容に反しています。イは前半の「社会的弱者は災害そのものへの影響に対処する力は他の人たちと変わらないが」が筆者の主張と合っていません。ウでは、被災地の復興などの方策が述べられていますが、本文では被災地や被災者をどのような形で支援すべきだといったことは主張されていません。

2

物語文の出典は、名取佐和子『君の卒業式』（リンダブックス）です。出題されているのは、2年前に小学4年の娘を亡くした夫婦が、招かれて、娘のクラスメートだった生徒たちの卒業式に出席する場面です。

問一

4頁上段8行目傍線(1)「いたずらに潰してしまったこと」を具体的に説明する問題です。この傍線箇所直前に「香澄がその短い人生の中で出来たかもしれない経験を」とありますので、その「香澄の出来たかもしれないこと」を探すと、4行目に香澄が犬を飼いたがっていたことが書かれています。弘美はそれに対して検討せずに犬を飼わなかったことが7行目に書かれており、こういったことが「いたずらに潰してしまったこと」にあたりますので、「犬を飼いたいと香澄がねだった時に、弘美が真剣に検討せず、すぐに飼わなかったこと。」というようにまとめます。

問二

4頁下段37行目傍線(2)「この部屋も、そろそろ片付けようと思う」とありますが、弘美がそれまで香澄の部屋を片付けることができなかった理由を考え、左の文章にあう5字以内の語句を入れる問題です。44行目に「そばにいるってことなんだ」というせりふからもわかるように、死後も香澄のそばにいたいという気持ちがありますので、解答らんにはその逆の、「遠ざかる」が入ります。

問三

5頁上段66行目傍線(3)「途中で折れ曲がった」ことの理由を問う問題です。69行目からの先生のこ

とば「生徒たちはそれぞれ香澄さんに胸を張って報告できるような自分なりの課題を成し遂げて、今日の卒業式を迎えました。春山さん、天国の香澄さんといっしょにどうか生徒たちの言葉を聞いてあげてください」とありますので、生徒たちが「途中で折れ曲がった」は、「香澄のクラスメイトたちが、香澄の死後、香澄に胸を張って報告できるように成し遂げたそれぞれの課題を香澄の両親に報告するため」ということがわかります。なお、理由を問う問題ですので、解答は「何々のため。」あるいは「何々だから。」という文末となる必要があります。

問四

5 頁上段 9 2 行目傍線 (4) 「みんなひどい」とありますが、この弘美の心中を最もよく表現している一文を探す問題です。9 4 行目から 5 頁下段 9 8 行目までが具体的な事例で、それをまとめているのが、9 9 行目の「香澄のいない日常を簡単に受け入れ、馴染んでいくみんなに納得がいかず、許せなかった」ですので、この文の最初「香澄がいな」を抜き出します。

問五

5 頁下段 1 0 1 行目 に入れるのにふさわしいひらがな二字を問う問題です。前からつなげると「あさ何々な」思い込みというふうにつながりますので、「あさはかな」が適切です。したがって、解答らんには「はか」を入れます。

問六

「声」を用いた慣用句の意味を問う問題です。一はエ、二はウ、三はイ、四はア、五はオとなります。

問七

空欄にふさわしい語を入れる問題です。4 頁上段 20 行目 には子どもが親の手のかからない段階に入っている事例が後に続きますので、「エ すでに」が入ります。4 頁上段 19 行目 にはアルバムが香澄の死によって終わっていたことを述べる文脈ですから、「イ 唐突に」が入ります。5 頁上段 95 行目 には香澄の死後クラスメイトたちが春山家には行かなくなったことを表す、「ア あっという間」に入ります。5 頁 101 行目 には弘美が立ち上がる様子なので、「ウ おもむろに」が入ります。

問八

本文の内容に合致するものを選ぶ問題です。この文章の主眼は、最後の形式段落の箇所 5 頁下段 121 行目にある「君を失った悲しみからの卒業式」とあるように、弘美が後ろ向きの悲しみから脱するという事です。もちろんそれは、香澄を忘れることではなく、4 頁下段 4 3 行目「また、香澄のアルバムをいっしょに見よう。いっしょに思い出してあげよう。」とあるように、香澄の思い出とともに生きるということでもあります。そういったことが述べられているのはエです。他の選択肢を見てみます。アは初めの「弘美は和博よりも深い悲しみを背負ったが」というのが誤りです。イは「弘美も和博もこの 2 年間深い悲しみをかかえていることをお互いにずっとわかりあっていたので」というのが誤りです。ウは終わりの「悲しみから卒業するためだけに桜吹雪をつくった」とある「だけに」が誤りです。